



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月6日

上場会社名 株式会社 大水

上場取引所 東

コード番号 7538 URL <http://www.daisui.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 山橋 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理本部副本部長兼総務広報部長 (氏名) 片野 博雄

TEL 06-6469-3000

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	26,239	15.5	117		60		5	93.0
2020年3月期第1四半期	31,039	0.6	21	65.8	57	48.9	85	22.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 72百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 22百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	0.44	
2020年3月期第1四半期	6.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	20,023	6,835	34.1
2020年3月期	19,963	6,831	34.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 6,835百万円 2020年3月期 6,831百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		5.00	5.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2021年3月期の配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、現時点では新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループの事業に与える影響を精査中であり、合理的に算定することが困難であるため、公表を見送らせていただきます。なお、今後業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、株式会社別府魚市の全株式を取得したことにより、当第1四半期連結累計期間の期首より同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	13,774,819 株	2020年3月期	13,774,819 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	49,931 株	2020年3月期	49,931 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	13,724,888 株	2020年3月期1Q	13,724,900 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

添付資料P. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」にて記載のとおり、現時点において業績予想の公表は見送らせていただきます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(表示方法の変更)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響で経済活動が大幅に停滞しました。緊急事態宣言解除後は、経済活動が一部再開されたものの、先行き不透明な状況が続くなか、輸出や企業収益は大幅に悪化するなど極めて厳しい状況となりました。

当水産流通業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛で巣ごもり消費が増加したことに伴い、内食需要はやや伸びたものの、飲食店の営業自粛や利用自粛の影響等もあり、外食需要は大きく落ち込むなど非常に厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループでは、安全・安心な水産物を安定供給するという社会的使命を果たすべく、産地出荷者とのネットワークの強化や海外との取引強化等に努めてまいりました。また、2020年4月1日付で大分県別府市公設地方卸売市場の卸売業者である株式会社別府魚市の全株式を取得し連結子会社としました。同社を当社のグループ会社とすることで、大分県を中心とした集荷・販売体制を強化し、更なる事業拡大と企業価値向上を図っております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は262億39百万円（前年同期比48億円減）となりました。損益面では、営業損失は1億17百万円（前年同四半期は営業利益21百万円）、経常損失は60百万円（前年同四半期は経常利益57百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5百万円（前年同期比79百万円減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

水産物販売事業は、海外への販売は堅調に推移した一方で、国内での販売は、新型コロナウイルス感染症の影響は緊急事態宣言時のピークを過ぎたものの、引き続き厳しい販売環境が続いております。内食向け需要の高まりから量販店への販売は順調に推移しましたが、外食関連の飲食店、ホテル、旅館等向けの売上が大幅な減少となり、特に高価格品については販売状況が著しく悪化した影響が大きく、売上高は261億95百万円（前年同期比47億97百万円減）の減収となり、セグメント損失は61百万円（前年同期は63百万円のセグメント利益）となりました。

冷蔵倉庫等事業は、売上高が56百万円（前年同期比4百万円減）の減収となり、セグメント損失は0百万円（前年同期は0百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて59百万円増加し、200億23百万円となりました。これは現金及び預金が6億77百万円減少した一方で、商品及び製品が4億91百万円、投資有価証券が1億26百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて55百万円増加し、131億87百万円となりました。これは未払金が1億84百万円増加した一方で、役員退職慰労引当金が1億19百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3百万円増加し、68億35百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が88百万円増加した一方で、利益剰余金が62百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度（2021年3月期）の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が依然として不透明であり、現時点では合理的な算定が困難であるため、未定とさせていただきます。業績予想の算定が可能となった時点で改めて公表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,945	2,268
受取手形及び売掛金	7,698	7,774
商品及び製品	3,545	4,036
短期貸付金	300	300
未収消費税等	141	133
その他	171	222
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	14,788	14,720
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	853	842
土地	1,723	1,723
その他(純額)	202	222
有形固定資産合計	2,778	2,787
無形固定資産		
	74	88
投資その他の資産		
投資有価証券	2,054	2,180
長期貸付金	365	346
破産更生債権等	655	650
固定化営業債権	800	797
繰延税金資産	21	22
その他	135	133
貸倒引当金	△1,711	△1,704
投資その他の資産合計	2,322	2,426
固定資産合計	5,175	5,302
資産合計	19,963	20,023

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,728	6,742
短期借入金	1,450	1,450
1年内返済予定の長期借入金	250	250
未払金	392	577
未払法人税等	104	15
賞与引当金	151	45
その他	297	465
流動負債合計	9,375	9,547
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	500	500
繰延税金負債	269	234
再評価に係る繰延税金負債	251	251
役員退職慰労引当金	230	110
退職給付に係る負債	1,630	1,662
その他	374	382
固定負債合計	3,756	3,640
負債合計	13,131	13,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,352	2,352
資本剰余金	497	497
利益剰余金	3,145	3,082
自己株式	△19	△19
株主資本合計	5,975	5,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	665	753
繰延ヘッジ損益	7	△13
土地再評価差額金	217	217
退職給付に係る調整累計額	△34	△35
その他の包括利益累計額合計	856	923
純資産合計	6,831	6,835
負債純資産合計	19,963	20,023

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	31,039	26,239
売上原価	29,320	24,650
売上総利益	1,719	1,588
販売費及び一般管理費	1,697	1,705
営業利益又は営業損失(△)	21	△117
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	32	34
受取賃貸料	31	39
貸倒引当金戻入額	3	2
その他	3	7
営業外収益合計	73	85
営業外費用		
支払利息	4	4
賃貸費用	19	23
その他	12	0
営業外費用合計	37	28
経常利益又は経常損失(△)	57	△60
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
減損損失	—	7
特別損失合計	—	7
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	57	△67
法人税、住民税及び事業税	25	△6
法人税等調整額	△53	△67
法人税等合計	△28	△73
四半期純利益	85	5
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	85	5

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	85	5
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103	88
繰延ヘッジ損益	△1	△20
退職給付に係る調整額	△3	△0
その他の包括利益合計	△108	66
四半期包括利益	△22	72
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△22	72
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第1四半期連結累計期間において区分掲記していた「営業外費用」の「為替差損」は金額的な重要性が低下したため、当第1四半期連結累計期間より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外費用」の「為替差損」に表示していた9百万円は、「その他」として組替えております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

株式会社別府魚市の全株式を取得したことにより、当第1四半期連結累計期間の期首より同社を連結の範囲に含めております。なお、同社は特定子会社には該当いたしません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	水産物販売事業	冷蔵倉庫等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,993	46	31,039	—	31,039
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	14	14	△14	—
計	30,993	61	31,054	△14	31,039
セグメント利益又は損失(△)	63	△0	63	△41	21

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△41百万円のうち、△41百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、0百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	水産物販売事業	冷蔵倉庫等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,195	43	26,239	—	26,239
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	13	13	△13	—
計	26,195	56	26,252	△13	26,239
セグメント損失(△)	△61	△0	△61	△56	△117

(注) 1. セグメント損失の調整額△56百万円のうち、△56百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

水産物販売事業セグメントにおいて、7百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

水産物販売事業セグメントにおいて、株式会社別府魚市の株式を取得し、同社を当社の連結子会社としたことにより、のれんを17百万円計上しております。